

## 事業評価票（監理団体への支出予算）

<b>39</b>	<b>多摩地区お客さまセンター運営業務（水道局）</b>	団体名 <b>（株）PUC</b>	区分	委託	25年度予算額	956,717 千円	24年度決算額	1,025,399 千円			
事業内容・団体への支出理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>水道の各種受付や問合せ対応などの総合的な受付対応業務、及びセンターの基幹機能であるセンターシステム運用管理を委託している。</li> <li>本業務は、非定型な内容の電話対応も含んだ総合的な受付を行うため、水道業務について広範囲な知識を有していることに加え、水道料金ネットワークシステム及びセンターシステムを開発した本会社に委託している。</li> </ul>									
成果・決算状況・課題等		<ul style="list-style-type: none"> <li>IT技術を活用し、受付業務や問い合わせ対応を集中化した総合的な受付センターを開設することにより、①お客さまサービスの向上（ワンストップサービスの実現、夜間、土曜日、休日等の受付時間の拡大）、②定型業務の集中処理による効率化、③民間委託の拡大による局職員の増加抑制を実施している。</li> </ul>									
見積概要（局評価）		引き続き、適切なお客さまセンター業務を実施するため、各種受付業務等に必要な経費を計上する。						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
								26年度見積額		978,685 千円	
行政改革推進部 評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は、多摩地区26市町における水道使用の中止・開始などの受付業務や各種問い合わせ対応などを実施しており、お客さま対応に必要な機密性の高い個人情報を取り扱うなど、民間にはなじまない公共性、中立性ととも、高度な知識が求められることから本会社への委託は妥当である。</li> </ul>						適正性、実施状況等からの評価			
								拡大 充実	見直し 再構築	継続実施	
財務局評価		水道業務に関して幅広い知識と技術を有する本会社に本事業を委託することは妥当であり、見積額のとおり計上する。						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
								26年度予算額		978,685 千円	

<b>40</b>	<b>排水設備調査業務（下水道局）</b>	団体名 <b>東京都下水道サービス（株）</b>	区分	委託	25年度予算額	76,000 千円	24年度決算額	67,181 千円			
事業内容・団体への支出理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都指定排水設備工事事業者が施工した宅地内排水設備（ディスポーザ排水処理システムを含む）の施工状況の調査業務を委託している。</li> <li>本会社は、下水道技術全般に精通しており、排水設備に関する専門的知識を有し、排水設備工事の施工技術等を熟知している。</li> <li>このため、局直営時と同様に本業務を円滑に遂行できる唯一の団体である本会社へ委託している。</li> </ul>									
成果・決算状況・課題等		<ul style="list-style-type: none"> <li>お客さまの財産である排水設備について、計画届出書と現地の相違や下水道への固着状況などを調査することにより、東京都指定排水設備工事事業者の適正な施工を確保することで、お客さまサービスの向上に資するとともに下水道施設の保全や公共用水域の良好な水質の保全に貢献している。</li> </ul>									
見積概要（局評価）		引き続き、お客さまサービスの向上に資するとともに、下水道施設の保全や公共用水域の良好な水質の保全に貢献するため、排水設備調査に必要な経費を計上する。						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
								26年度見積額		91,200 千円	
行政改革推進部 評価		<ul style="list-style-type: none"> <li>本業務は、民間事業者が設置する排水設備及びディスポーザ排水処理システムに関し、法令に基づいた行政処分を行うために必要な施工状況の判定などを行うものである。</li> <li>事業実施に当たっては、中立性、公平性が求められることから、下水道や排水設備等に関する専門知識を有し、都の下水道事業に精通している本会社への委託は妥当である。</li> </ul>						適正性、実施状況等からの評価			
								拡大 充実	見直し 再構築	継続実施	
財務局評価		下水道技術全般に精通し、排水設備等に関して高い技術力を有する本会社に本事業を委託することは妥当であり、見積額のとおり計上する。						拡大 充実	見直し 再構築	移管 終了	その他
								26年度予算額		91,200 千円	